



むすぶ

新潟市立結小学校
令和8年6月26日号

令和8年度 結小学校運動会～5月23日(土)～

「全力で!心を一つに!勝利をつかめ!」のスローガンのもと、結小学校運動会が行われました。当日は、全校児童の心が一つになった圧巻の「全校ダンス」に始まり、赤白に分かれての迫力ある「応援合戦」、そして練習の成果を出し切った「徒競走」や「団体種目」と、見どころ満載の1日となりました。子どもたちは競技に、応援に、文字通り全力で臨んでいました。また、高学年の子どもたちが、それぞれの係活動に責任をもって主体的に取り組む姿も大変立派でした。結果発表の後や教室に戻った後も、お互いの健闘を称え合う姿が見られ、子どもたちの心の成長を感じる清々しい締めくくりとなりました。

保護者の皆様の温かい応援が、子どもたちの大きな力となりました。たくさんのご声援とこれまでのご協力に、心より感謝申し上げます。



全 校 ダ ン ス



応 援 合 戦



4 年 生 全 員 主 役 ! ダ ッ シ ュ 綱 引 き ! !



2 年 生 み ん な で ス マ イ ル ☺ お み こ し レ レ



5 年 生 つ な げ ! 友 情 の バ ト ン ! !



3 年 生 巻 き 起 こ せ ! 結 タイ フ ーン !



1 年 生 リ ズ ム に の っ て チ ャ ッ コ リ 玉 入 れ !



6 年 生 つ な げ ! 友 情 の バ ト ン ! !



5 ・ 6 年 生 爆 裂 GO ! GO !

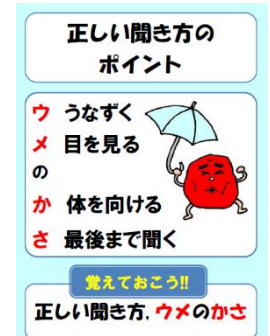
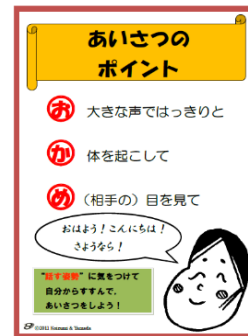


ピア・サポート活動紹介

結小学校では、子どもたちが社会性の基礎を身に付け、よりよい人間関係を築けるようにするためにピア・サポートプログラムに取り組んでいます。毎週木曜日のピア・サポートタイムに、よりよい人間関係を築くために必要な人のかかわり方を学習したり、学習したかかわり方を生かして人の役に立つ活動をしたりしています。これまでの活動をご紹介します。

1 あいさつ・上手な聞き方

よりよい人間関係は、よりよいあいさつや相手の話を聞くことから始まります。4、5月には「おかめ」や「うめのかさ」の合言葉を使ってあいさつや話の聞き方が上手になるように取り組んでいます。ピア・サポートタイムの時間にゲームなどをしながら練習し、合言葉で互いのよいところを認め合っています。



2 非言語コミュニケーション

人とかかわるときには、どんなことに気を付けてかかわるとよいでしょうか。それは表情や声の調子などの非言語です。人は非言語から相手の気持ちや機嫌などを読み取っています。それも8割以上です。そう言われてみると確かに、不機嫌な顔と声で「ありがとう」と言われても、感謝されているとは感じません。そのことを学習した後で、友達の気持ちに合わせてかかわる練習をしました。

3 ペア学年でのサポート活動（学習支援活動）



結小学校では、縦割り班の中でも特に1・6年生、2・4年生、3・5年生がペア学年となっていて、行事や清掃などで協力して活動をしています。ペア学年でのサポート活動とは、ペア学年の下学年の学習や生活を上学年がサポートをする活動です。これまでは、上学年が下学年に算数の学習を教えたり、アサガオの種を入れる袋作りを手伝ったりするといった活動を行ってきました。サポート活動を行う前には一人一人が計画を立て、これまでのピア・サポートタイムで学習したことが使えるように準備をします。活動中はきちんと話を聞いたり、相手を認める言葉を使ったり、笑顔でかかわったりする姿がたくさん見られます。このような活動をきっかけに縦割り班清掃などでも自然に声が掛けられるようになり、よりよい人間関係がつくられています。

4 ひしのみハッピータイム（縦割り班遊びの時間）

ピア・サポートタイムに縦割り班でやりたい遊びを決めて楽しく遊ぶのが「ひしのみハッピータイム」です。遊びを決める時間には、班長を中心にやりたい遊びを出し合って、みんなが楽しめる遊びを決めていました。「1年生は何がしたい？」と聞いたり、「みんなこの遊びのやり方分かる？」と確認したりして話し合っていました。みんなのことを考えながらかかわる姿が素晴らしかったです。ひしのみハッピータイムの時間には、子どもたちの楽しそうな声があちこちから聞こえてきました。低学年の子にも分かるようにヒントを出してクイズをしたり、うまく進めなくても他の学年の子がフォローしてくれたりして、異学年で楽しく遊ぶにはどんなことに気を付けたらよいかを体験的に学ぶ機会となっています。



5 学力部との連携した話し合い活動の充実（主に高学年）

ひしのみハッピータイムの話し合いでは、各学年に意見を聞き、遊びを決めていました。昨年度までの反省から、安易に多数決を採ることがないよう、目的意識をもって話し合いを進めるために、話し合い活動を充実させるための経験を積んでいきます。